

ジン・キムと名手共演で聴く バッハに心寄せる名曲の夕べ

J.S. バッハ 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第2番より グラーヴェ フーガ BWV1003
平均律クラヴィーア曲集 第一巻より 第8番 ホ短調 BWV853
ヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ 第2番 ニ長調 BWV1028
トリオ・ソナタ BWV528 他

G.Ph.テレマン トリオ・ソナタ ホ長調 TWV 42:E7

2024年

10月23日 水 鶴見区民文化センター
サルビアホール3f 音楽ホール

パロック・ヴァイオリン ヴィオラ・ダ・ガンバ チェンバロ
出演：ジン・キム / 田中孝子 / 岡田龍之介

開場 18:30 / 開演 19:00

<https://pia.jp/>
チケットぴあ

全席
自由席

チケットレス・事前振込・完全予約制

¥4,200 (税込) ペア ¥7,700 (税込)

※当日券無し:当日の現金取扱はございませんのでご注意ください



メール申込

info@viagalleria.or.jp

購入方法についての詳細裏面 ▶

＜バッハに心寄せる名曲の夕べ＞ ジン・キム バロック・ヴァイオリン

シギスヴァルト・クイケン の薫陶を受け、全米・ヨーロッパ・アジアなど世界各地で演奏活動を展開、ラ・プティット・バンドの一員としての国際的活動を通じ名声に彩られたバロック・ヴァイオリンの世界的演奏家ジン・キム氏。バッハ無伴奏パルティータの絶演に、息を止めて耳を澄ます聴衆の集中力で鶴見のステージが静まり返った昨年の来日公演。一音一音に祈りを込めた荘厳な演奏は、敬虔な信仰家バッハの素顔を伝える気高い厳粛さに満ち、その品格は聴衆の尊崇を一身に集めました。今回は、そんな彼女のバッハへの共感を、彼女が信頼を寄せる本邦の名演奏家との共演で一層豊かに味わいます。彼女による無伴奏ソナタの演奏を軸に、バッハへの敬愛溢れる名曲プログラムで構成、思いの詰まった演奏にご期待下さい。なお、一部感染再燃する状況も散見するため非接触対応を継続し、チケットレス・事前振込・完全予約制と致します。当日来場者リスト確認でご入場頂きますのでご了承ください。



ジン・キム [バロック・ヴァイオリン]

国際的に認められたバロック・ヴァイオリニスト=ジン・キムは1993より世界中で演奏活動を続けている。米国ミシガン大学の博士課程、モダン・ヴァイオリンをルジェイロ・リッチに指示する傍らエドワード・バルメンティエにバロックのアンサンブルを学びつつ、90年代にアメリカ・バロック・アンサンブル、アルス・ムジカ、ターフェル・バロック・オーケストラ他、出演したグループは枚挙にいとまがない。

古楽解釈はシギスヴァルト・クイケン の薫陶を受け、1987～1990ベルギーの彼のもとで研鑽を積み1993年以来、同師率いる名門プティット・バンドで演奏を続け、欧州各地、アジア、南アの主要な古楽祭に参加、無数のCD録音をドイツ・ハルモニア・ムンディ、アクサンなど主要レーベルに残した。米国では、ミネソタ・バッハ協会、アルス・リリカ(テキサス)、ノースカロライナ・バロック・オーケストラ、など無数のグループにソリストやコンサート・マスターとして招かれ、イリノイ・ノースウェスタン大学、並びにルーズヴェルト大学で教鞭をとり、日本、韓国では各種マスタークラスでの指導にあたっている。

韓国古楽のバイオニアとして各種古楽演奏会を催し、90年代にエドワード・バルメンティエとのデュオや、邦人リユースト佐藤豊彦とのデュオコンサートにも出演。また、古楽プロジェクト「ムジカ・グロフィカ」のシリーズで、マルク・アンタイ、ベンジャミン・アラード、フィリップ・ピエール、鈴木秀美、レジーナ・アルバネスら、国際的古楽演奏家を招き共演を実現、母国の古楽浸透に注力する。また2002年以来ピーパー特集、バッハのコンチェルト・カンタータシリーズなど、様々なテーマ演奏会に出演、ソロでも各種CDを発売している。数十年に亘る米欧亜3大陸にまたがる活動経験は、音楽と彼女の人生に一段と幅と奥行きを与えている。



田中孝子 [ヴィオラ・ダ・ガンバ]

福岡県出身。フランス・グルノーブル国立音楽院古楽器科修了。ヴィオラ・ダ・ガンバをC.アルヌー、チェンバロと通奏低音をA.ピュミール、室内楽をCh.マゾー各氏に師事。欧州のマスター・クラスにてW.クイケン、M.ミューラー、V.ギエルミ各氏のレッスンを受ける。読売新聞社主催第74回新人演奏会出演。フランス語の文献講読に積極的に取り組み、M.コレット著『クラヴサン奏法の師(1753)』を柴形亜樹子氏とともに抄訳。S.ミリオ著『マラン・マレ(1991)』の一部翻訳をヴィオラ・ダ・ガンバ協会会報に連載。2010年に東京でソロ・リサイタルを開催。以降、関東・仙台・福岡を拠点に演奏及び教育活動を行っている。ブログ：<http://ttakako.blog83.fc2.com/>



岡田龍之介 [チェンバロ]

慶応義塾大学経済学部卒業後、東京芸術大学楽理科卒業、同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。1983年ジャン・ジャック・ルソー「村の占い師」オペラ(原語本邦初演)でデビュー後、国内外で多数演奏を行い、フェデリコ・アゴ스티ーニ、シギスヴァルト・クイケン、D.ブリュッヘンら国内外の優れたソリスト、バロック奏者とのアンサンブルで培った通奏低音の表現力は高く評価されている。近年は教育活動や、講演会・執筆などを通じた普及活動も積極的に進め、NHK-FMにも出演。韓国ソウル国際音楽祭、アリオス・レクチャーコンサート、栃木「蔵の街」音楽祭、日白バロック音楽祭、北とびあ国際音楽祭、みなと・横浜バロックシリーズ、金沢史跡コンサートに加え、韓国やドイツにも広く客演している。第13・23回山梨古楽コンクールチェンバロ部門審査員。ソロCD「銀色の響き」はレコード芸術誌準特選に選ばれ、これまでに12枚のCDをリリースしている。洗足学園大学(～2021)・都留音楽祭各講師(～2017)、古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰、鴻巣FM放送「クラシックの散歩道」メインパーソナリティー。ザロモン室内管弦楽団指揮者。日本チェンバロ協会前会長。

[チケットぴあ]

<https://bit.ly/3WvrQaT>
Pコード：277406



[ホームページ申込画面]

<https://bit.ly/3A30NuA>



[銀行振込でのお支払い]

<https://bit.ly/3WfoRSB>



電話申し込み

tel. 045-961-0813 (岡田)

メール申し込み

info@viagalleria.or.jp

お問合せ

[メール] info@viagalleria.or.jp

[電話] 045-961-0813 岡田

[ホームページ] <http://viagalleria.or.jp/>